

梅北だより

第2回学校評価特別号

令和6年2月
京都市立 梅津北小学校
校長 南 宏樹



令和5年度 第2回学校評価結果のお知らせ

保護者の皆様には、12月に実施しました「学校評価アンケート」にお忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。結果がまとまりましたのでご報告いたします。

梅津北小学校が学校教育目標の実現に向けて、特に大事にしたいことについてアンケートをとり、保護者・児童（低学年、高学年）・教職員の自校評価を第1回のアンケート結果と比較し、継続すべきところ、改善すべきところを明らかにして、今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。

アンケートの方法

アンケートの項目を、【確かな学力】【豊かな心・健やかな体】【学校・家庭・地域の連携】のグループに分け、それぞれの項目について「重要度－実現度」を尋ねる形式にしました。この二つを相互に関連させたとき、重要度・実現度がともに高い項目は比較的肯定的なご意見が多く、重要度が高く実現度が低い項目は本校の課題とみることができます。

アンケート結果より

※重要度については、「重要である」「やや重要である」を合わせて表記しています。

※実現度については、「よく出来ている」「大体出来ている」を合わせて表記しています。

※（　）内は、保護者・教職員用アンケートの文言です。

※全項目は掲載できませんので、ご了承ください。

【確かな学力】

授業中、しっかり相手に話をすること 【実現度】		第1回	第2回
	低学年児童	88. 9%	87. 6%
	高学年児童	80. 5%	79. 5%

授業中、学習がよくわかること (子どもにとって授業がよくわかること) 【実現度】		第1回	第2回
	保護者	87. 7%	84. 4%
	低学年児童	91. 9%	92. 4%
	高学年児童	88. 9%	90. 9%
	教職員	88. 9%	86. 3%

学習の中で、PCやタブレットを使うこと 【実現度】		第1回	第2回
	低学年児童	91. 8%	90. 3%
	高学年児童	94. 5%	93. 7%

最後まであきらめず、学習に取り組むこと (子どもが何事にも粘り強く取り組めること) 【実現度】		第1回	第2回
	保護者	75. 0%	78. 0%
	低学年児童	90. 4%	90. 8%
	高学年児童	89. 5%	80. 5%
	教職員	66. 7%	63. 6%

家で予習、復習、宿題をすること 【実現度】		第1回	第2回
	低学年児童	79. 3%	83. 3%
	高学年児童	78. 9%	81. 8%

毎日決まった時間（長さ）、家庭学習をすること（子どもに家庭学習（学年×10分）の習慣が身についていること） 【実現度】		第1回	第2回
	保護者	58. 9%	57. 2%
	低学年児童	81. 4%	79. 4%
	高学年児童	65. 5%	62. 3%
	教職員	63. 0%	50. 0%

[学校より]

今年度より育成したい資質・能力として「思いを言葉にする力」を大切にして取組を進めています。授業の中では、教員やほかの児童が声をかけることで、課題に対して自分の考えをもつことができたり、違った角度で思考ができるようにしたりしています。また、自分の思いをペアやグループなどで話す場面を設けることで、理解を深めたり多くの気づきを得たりしています。『授業中、しっかり相手に話すこと』のアンケート結果では、「よく出来ている」「大体出来ている」と答える児童の割合が、昨年の数値よりも増加していました。この取組なども一つの要因となって、『授業中、学習がよくわかること』の結果が低学年・高学年児童いずれも7月1回目よりも12月2回目の方が増加する傾向になりました。しかし、保護者や教職員では減少していることから、学力の高まりが目に見える形とはなっておらず、今後さらに取組を充実させていきたいと考えています。

児童はタブレットを活用して学習に取り組んでいます。アンケート結果からも、低学年・高学年児童ともに9割以上の児童が活用できていると回答しており、学習の中で活用することが当たり前となってきています。日々の学習では、ロイロノートで課題の提出や友達との交流をしています。また、インターネットで調べたり、記録のために写真を撮ったり、音楽や外国語の活動を撮影したりと、児童の活動の幅を広げています。算数タイムや授業の中でデジタルドリル「ミライシード」に取り組み、学習内容の定着にも活用しています。今後も主体的に学習するためのツールとして、充実した活用ができるようにしていきます。

『最後まであきらめず、学習に取り組むこと（子どもが何事にも粘り強く取り組めること）』について、低学年児童・保護者では実現度の割合が1回目よりも増加しました。一方で、高学年児童・教職員では減少しました。学年が上がるにつれて、学習内容が難しくなったり、取り組む量が増えたりする中で、最後まで粘り強く取り組むことが難しいと感じている児童が増えています。授業の中ではどの学年でも児童は概ね課題をやり終えていますが、児童がやり切ったと実感できるよう、今後も、子どもたちが自分の目標に向かい日々の学習や学校での活動に取り組めるようサポートしていきます。

『家で予習、復習、宿題をすること』について、低学年・高学年児童ともに実現度の割合が1回目よりも2回目の方が増加しました。一方で、『毎日決まった時間（長さ）、家庭学習をすること（子どもに家庭学習（学年×10分）の習慣が身についていること）』については低学年・高学年児童、保護者、教職員全てで減少しました。保護者の方の協力もあり、児童は宿題に取り組むことができる割合が増えてきています。しかし、学年ごとに決められた時間まで宿題以外の家庭学習に取り組むことには課題があります。今後は、低学年から少しづつ自主学習の習慣を身に付けていくことで、高学年で家庭学習の時間が増えていくようにしていきます。

【豊かな心・健やかな体】

「おはよう」などのあいさつや 「ありがとう」が言えること (子どもが「おはよう」などのあいさつや 「ありがとう」と進んで言えること) 【実現度】		第1回	第2回
	保護者	76. 1%	82. 1%
	低学年児童	88. 9%	82. 7%
	高学年児童	86. 1%	86. 3%
	教職員	66. 7%	72. 7%
早寝・早起きなど、決められた生活をすること (子どもが早寝・早起き・朝ごはんの生活習慣を 身に付けていること) 【実現度】		第1回	第2回
	保護者	79. 8%	81. 0%
	低学年児童	77. 7%	77. 1%
	高学年児童	70. 3%	64. 7%
	教職員	76. 6%	76. 0%
進んでそうじをすること 【実現度】		第1回	第2回
	低学年児童	89. 6%	93. 5%
	高学年児童	89. 4%	88. 6%
トイレのスリッパやぬいだくつをそろえること 【実現度】		第1回	第2回
	低学年児童	89. 6%	87. 0%
	高学年児童	85. 0%	87. 4%
友達と仲良くすること (子どもが温かい仲間意識をもち、思いやりや 親切な心を育むこと) 【実現度】		第1回	第2回
	保護者	90. 5%	90. 2%
	低学年児童	97. 1%	94. 6%
	高学年児童	96. 1%	93. 7%
	教職員	88. 9%	81. 8%

[学校より]

『あいさつ』について、低学年・高学年児童とも実現していると答えた割合が減少していますが、保護者と教職員の割合は増加しています。周囲から見ると児童のあいさつが増えているように感じていますが、児童は十分にできていないと感じているようです。毎月15日に児童会を中心にはいさつ運動をしており、学級でもあいさつの大切さを確認しています。その中で、児童は自らのあいさつを振り返り、十分にできていないとの思いになっているのではないかと思います。児童の課題意識を大切に、今後も、あいさつ運動などを通して、元気なあいさつが行き交う学校にしていきたいと思います。

『そうじ』については低学年児童の実現度が増加しており、『はきものをそろえること』については高学年児童の実現度が増加していました。自分だけではなくみんなが使う場所をきれいにしようと動いたり、次の人のことを考えてはきものをそろえたりと、「みんなのために」と考え行動している児童が少しずつ増えています。今後も、そうじやはきものをそろえることなどを通して、お互いを大切にしようとする気持ちを育てていきたいと思います。

『友達と仲良くすること』については、低学年・高学年児童、保護者・教職員全てで実現していると答えた割合が減少しましたが、児童は9割を超える児童が「なかよくできている」と回答しています。子どもたちは日々友達と様々なかかわりをしながら関係を深めています。その中でぶつかることもありますが、互いに対話をしながら、関係を築いています。今後も、子どもたちの心に寄り添い、子どもたちが元気に安心して学校に来ることができるようにしていきます。

【学校・家庭・地域との連携】

学校であったことを家で話すこと (学校が、教育方針や教育活動の状況を 分かりやすく伝えること) 【実現度】		第1回	第2回
	保護者	88. 3%	82. 1%
	低学年児童	82. 2%	87. 6%
	高学年児童	79. 5%	77. 7%
	教職員	66. 7%	72. 7%

PTA 行事や地域の行事に進んで参加すること (子どもが地域行事やPTA行事に参加すること) 【実現度】		第1回	第2回
	保護者	52. 2%	58. 4%
	低学年児童	55. 6%	70. 3%
	高学年児童	43. 4%	38. 9%
	教職員	66. 7%	95. 5%

【学校より】

『学校であったことを家で話すこと』については、低学年児童の「よく出来ている」「大体出来ている」の割合は増加していますが、高学年児童で若干減少しています。学校としては、今後も引き続き、ホームページや学校だよりで、学校の教育方針、育成を目指す子どもの姿や子どもたちの日々の活動の様子を発信していきます。各ご家庭で、お子たちとのコミュニケーションを心がけていただいていることだと思いますが、これらをその一助としていただけるとありがたいです。

昨年の「夕涼み会」に加え、今年度は「区民運動会」、「防災教室」など、地域の方々が昨年度にはなかった取組を進めてくださいました。PTAでも昨年度に続き「ふれあい活動」を実施されました。PTAや地域の方が子どもたちにとってさまざまな経験の場や活躍の場が必要だという思いで開催されました。子どもたちも行事に参加し、楽しい思い出ができたようです。今後も、学校とPTAと地域が連携し、子どもたちを育んでいきたいと思います。

【学校運営協議会でのご意見】 2月20日「第2回学校運営協議会」

【確かな学力】

- ・「最後まであきらめずに学習に取り組む」には、体力が必要だと思う。45分集中して学習をするためには、体力の向上につながる取組を学校や家庭・地域でも進めていく必要がある。
- ・学校が「思いを言葉にする力」の育成に取り組んでいることもあり、自分の意見を言える子が多いように感じる。ただし、相手の話を聞かずに自分の話だけしている場面を見ることもあるので、相手の思いを聞く力も育っていく必要があると思った。
- ・児童館での宿題を頑張っている姿を見る。学習の習慣がついているなど感じた。
- ・授業中、意見の交流や課題の提出などにタブレットを活用していることが分かり、タブレットが児童の学習の役に立っているなど感じた。

【豊かな心・健やかな体】

- ・朝の登校の様子を見ると、児童に元気がないように思う。日中は元気にあいさつしているので、その差が気になった。睡眠時間をとる、朝ご飯をしっかり食べるなどして、朝から元気に過ごせるようになってほしい。

【学校・家庭・地域の連携】

- ・子どもたちが地域のイベントに参加をして、地域の人々と関わり、地域に入っている実感をもってくればと思う。

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。今後とも梅津北小学校の子どもたちのよりよい成長に向け、【学校】【家庭】【地域】で連携していきたいと思います。よろしくお願いいたします。